

あるふあ国立

介護老人保健施設
あるふあ国立
広報誌
H27春号
年4回発行
◆発行者◆
あるふあ国立



フェイシャルエステ

昨年秋よりポランティアとして
エステティシャン・立河さんが、
月数回来てくださっています。ご
希望されるデイケアの利用者様に
フェイシャルエステを施術頂いて
います。

初めてのエステに少し緊張され
ていた利用者様も次第にリラック
スされて、輝いた表情を覗かせて
いました。綺麗になるといふ事に
心を弾ませ、心も
華やぐようです！



お囃子と獅子舞

元旦、毎年恒例となっている「坂下囃子連」の皆様が、お囃子と獅子舞で新年のお祝いをして下さいました。お囃子が奏でる賑やかな音楽と獅子舞の演舞が、より一層お正月を盛り上げてくれました。お囃子と獅子舞が利用者様の間を練り歩くと、体全体でリズムを取られる人、手拍子をされる人、見とれる人と三者三様でした。



結核健診 実施

12月、東京都結核予防会が行う結核健診が実施されました。結核予防事業の一環として、胸部X線健診により結核のみならず保健向上をめざして行われているものです。

職員が総出で、入所者様を次々に専用の車椅子にお乗せし、レントゲン車輻に移動「カシャリ！」と撮影。本格的な寒さが感じられてきた時期でしたので、風邪を引かないよう細心の注意を払いました。

おかげさまで利用者皆様の健康を確認することが出来ました。



豆まき & 鬼退治

2月3日の節分には豆まきを行い邪気を祓い、福を取り込みました。

鬼に変装をした職員。利用者様を驚かそうと、飛び跳ねてみたり。利用者様は向かってくる鬼に「鬼は外」と勢いよく豆を投げつけていました。この日を待っていたかのような利用者様も？。四方八方から飛んでくる豆に、さすがの鬼も床に倒れこんで降参・・・利用者様は大笑いされ、心もスカッ！とされたことと思います。

「豆まきの後は、年の数だけ豆を食べられないわね！」と冗談を言っていて、いつもより少しだけ豪勢なおやつを召し上がって頂きました。「豆より、こっちの方がいいね」と再び笑顔のぞかせていました。早速、福が舞い込んで来たようでした。

鬼は外
福は内



今後の行事予定

4月

お花見



5月

菖蒲湯



6月

紫陽花見学

